

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 22年 1月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---------------------------|----------------|----------|
| 事業所番号 | 0872000906 | | |
| 法人名 | 東成産業株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム いちさと | ユニット名 | B |
| 所在地 | 〒305-0842 つくば市柳橋 122-8 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 22年 1月 26日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成 年 月 日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-----------------|--|
| 基本情報 リンク先URL | |
|-----------------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|----------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成 22年 3月 16日 | 評価確定日 | 平成 年 月 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>グループホーム いちさと はアットホーム的な施設を目指しております。私達職員と入居者様との関係を出来る限り親密に家庭的に接し、例えば食事はご本人が望む時間に摂って頂いたり、事務所には入居者様が自由に入出りできる状態にしております。1日1日の時間がゆったりと流れ、生活に慌ただしさなど感じさせないよう心配りをいたしております。このことが施設をご自分の家のように思ってもらえると考え実践しているところです。この考え方はいちさとの理念にも盛り込んでいます。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 ユニット B | 自己評価 |
|------------|------|---|---|
| | | | 実施状況 |
| I 理念に基づく運営 | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 新しく覚え易い理念に添って実践している |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 玄関、キッチン、ヘルパー室等に理念を掲げ家族の方、地域の方に見て頂き施設行事の時は勿論の事、普段でも子供たちや近所の方が立ち寄っている |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 毎日の生活の中へ招き入れ一緒にレクリエーションやお茶等地域の皆様と共有している |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価の結果に基づき運営推進会議などにおいて報告し、ご意見を出して頂きサービス向上に取り入れている |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議、グループホーム連絡会あるいは施設として連絡を密にしてより良い協力関係を築けていると思います |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | いちさとでは職員が拘束を行わない事を理解しており時には研修へ参加したりしてその意識の向上に努めている。私達施設では「虐待、拘束を絶対にやらない」をモットーにしております。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | カンファレンス会議やミーティング等あるいは勉強会で話し合った事を施設に持ち帰り、全員が理解し防止に努めている |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 ユニット B | 自己評価 |
|------|------|--|--|
| | | | 実施状況 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している | 家族、職員で話し合っている、身近な家族がおられない方は電話で家族と、制度の活用について話し合い結論をだしている。成年後見制度等の講習について職員に参加させている |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約書の内容を良くご説明して理解をして頂いている |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 3ヶ月に1度の家族会や毎月の支払時にご家族のご意見を聞かせて頂き取り入れられる事は早目に取り入れるよう迅速に行っている |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 特にカンファレンスの時に話し合い問題が起きたときは随時に知らせ問題の共有を図っている |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の希望による勤務日、時間、環境等ストレスの掛からないよう努めている |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 施設として機会あるごとに研修に参加する様勧め介護職員間のレベルの均衡を図るようにしている |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | つくば市では毎月、地域密着型サービス連絡会を行い年間スケジュールを組みその中で勉強会を行っている、情報交換も高密度に行っている |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 ユニット B | 自己評価 |
|----------------------|------|---|---|
| | | | 実施状況 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 環境の変化に伴い不穏状態が出現しない様 十分に心配り、心配りをしながらコミュニケーションを図っている |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族の意見を良く傾聴し不安が起きない様 説明し、理解して頂いている |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族の意見を良く聞きサービス開始をするに 当り、例えば主治医に今までどうりに掛かり たい時は通院や往診を交渉したりしてご家族 本人の希望に添えるよう努力している |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 毎日の生活において利用者様と同じ目線で レクや散歩、お茶の時など共に時間を共有 して過ごしている |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族との関係は普段から密にし問題点があれば 良く話しあい、ご報告し解決している |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 居室にはご本人のお気に入りの物を持参して 頂いたり、趣味の物あるいは好きな民謡、 浪曲、落語、昔の歌等を居室で聞けるよう CDを用意したりして援助している |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士居室やリビングを利用して日常の 四方山話をされている |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 ユニット B | 自己評価 |
|----------------------------|------|--|---|
| | | | 実施状況 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居者に対して訪問し現況確認を行い相談に応じている |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | その時々々の状態や体調に合わせ時間にとらわれず個別に支援をしている |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 過去の生活歴を家族からの聞き取りにより把握し、それに沿った対応を家族と話し合いながら支援している |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 身体の状態は毎日のバイタルチェックから把握し心の状態は外見から判断し、無理の無いよう出来る事は自由にやって頂き協力の必要なことは協力して差し上げている |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンスや毎日の生活の中で出た問題点はその都度ミニカンファや家族と意見の交換を行い計画作成に活かしている |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 職員間の連絡ノートに些細な事でも記入し全員が情報を共有して実践している |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 職員の把握により嘱託医や家族への通報等で病院受診を行う時、ご本人の外出希望、地域行事への参加等随時行っている |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 ユニット B | 自己評価 |
|------|------|--|---|
| | | | 実施状況 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の方とも顔馴染が出来挨拶なども親しく交わっておられる、散歩の時など立ち話などもされている。 |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 当施設の嘱託医は月2回の往診を実施して下さり、体調の変化があれば随時往診をしていただけるのでご本人、ご家族共に安心と考えております |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師の採用や訪問看護師との契約もままなりません、そのため嘱託医との連携を密にして普段より医師の指導を受けることにより利用者の状況を的確に報告できるよう努めております ※訪問看護師センターにははたらき掛けています |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居者の直近の状況について詳細な情報を提供し又入院中の情報の交換も密に実施している、更に退院の時は病院からサマリーを発行して頂き施設に帰った後の介護に活かしている。これにより病院の信頼も得て空き室状況の問い合わせも多くなりました。 |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 施設では重度化や終末期の看取りに係る指針を作成し同意書に署名を頂いている。そのような状況が起きればその都度家族、医師、介護者の三者で話し合いを行います。家族の理解、希望を尊重し方針を決定します |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 昨年7月につくば南消防署の応援を得て近所の方や地区長さんなどの出席も有り総勢12名が普通救急救命の講義を受講し出席した介護者の初期に於ける応急手当能力を向上させました、今年度も実施予定有り。 |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 施設独自の避難想定訓練や消防署指導による非難訓練を実施し入居者様にも参加して頂いている。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 ユニット B | 自己評価 |
|--------------------------|------|---|--|
| | | | 実施状況 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個人情報の守秘義務を厳守することを徹底。ネームプレート、写真の掲示等情報開示の承諾書を作成し署名して頂き了解を得ている |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々のコミュニケーションに於いて充分な意思の疎通を図り、本人の思いを受け止め意思を表すことができる様、働きかけている。 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 普段のカンファ等により、人は10人10色であり入居者もそれぞれがその日その日で心の持ちようが違います、そのことを職員が良く理解するよう指導し実践している |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 個人個人の希望を取り入れ買い物等に同行してお好きなものを買って頂いたり、美容院等送迎したり応援している。 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の皆様には食事の前のテーブル拭きや配膳など出来る範囲のお手伝いをして頂き少しでも食事が楽しくなるよう考えている更に施設では誕生会にご本人の希望の食事を提供し喜んで頂いている。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量、水分量の表を作成し一人一人の摂取量を把握して対応している、個々の状況により刻み食、ペースト食の提供も行っている。 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 1日3回の口腔ケアと義歯の夜間洗浄を実施している。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 ユニット B | 自己評価 |
|------|------|--|--|
| | | | 実施状況 |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄チェック表を作成し個々のパターンを把握し時間を見て誘導し自立に対しては見守り一部介助の支援を行っている。 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排便チェック表を作成し食事量、水分摂取量から判断し運動、散歩等心掛け場合により、医師の指導により薬対応を取る。 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 入浴表にそって行うが本人の希望や体調により入浴して頂いている。 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 部屋の温度調整に配慮し安眠できる環境を整えている、日中の適度な運動、散歩等を取り入れている。 |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師の指導、薬剤師の指導の基に管理、服薬介助等を行っている、処方薬に関しては職員全員が把握している。 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の趣味（短歌、民謡、浪曲、書写、紙細工、草取り、畑仕事、洗濯）等の支援見守りを実行している。 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人の希望あるときや、定期的な買い物への同行をお誘いしたり出来るだけ外出出来る様支援している、更に地域の行事へ参加している。（小学校の運動会、敬老会等） |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 ユニット B | 自己評価 |
|------|------|---|--|
| | | | 実施状況 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>買い物は現金をお渡しして自由に使えるよう支援している。</p> |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>毎月のいちさと便り、年賀状の作成（本人）あるいは家族会の際対面して頂く。電話は本人の希望あれば使用して頂きます。</p> |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共用空間は清潔に心掛け常に安全であり、室温に気配りし季節感を出し居心地良く過ごせるように工夫している。</p> |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>利用者同士でのおしゃべり、お互いの居室等往来している事を見守りながら支援している</p> |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>プライバシーに配慮し安全、清潔に過ごして頂けるよう気配りしている。天気の良い日は布団を干して換気や温度調整をこまめに行うようにしている。</p> |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>居室の分らなくなる方へは入り口ドアに大きく名前を掲示したり、トイレの表示、入浴時の段差や滑り止め等安全に使用できるよう工夫や誘導を行っている。</p> |

| V アウトカム項目 | | ユニット | B |
|-----------|--|------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | <input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | <input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |